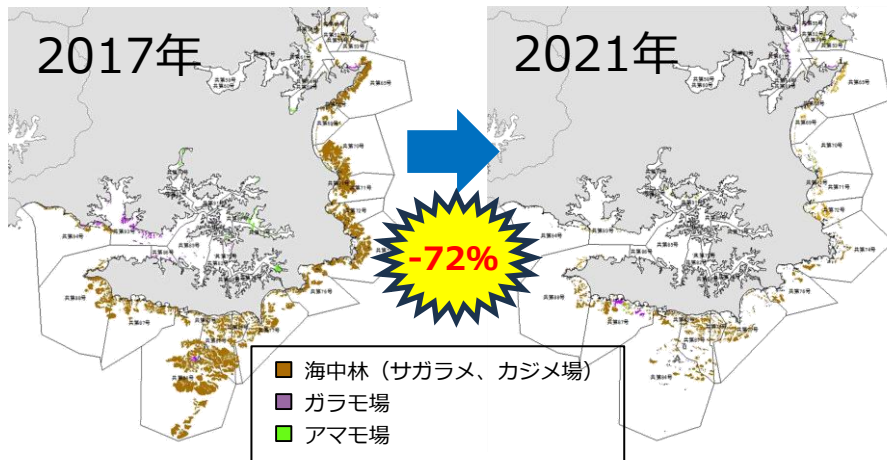


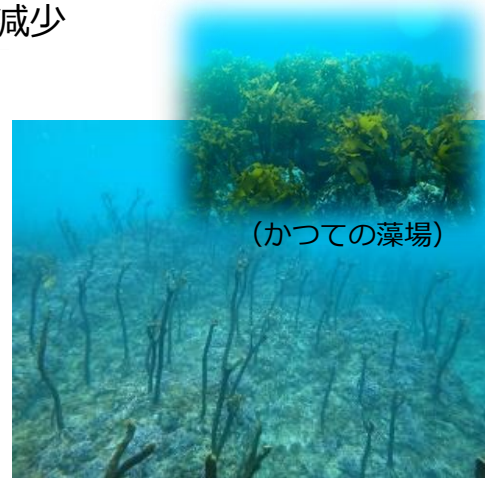
志摩市沿岸における藻場減少の原因究明

黒潮大蛇行と藻場の減少

- 2017年8月から**黒潮大蛇行**が発生し、過去最長で継続、志摩市沿岸水温の上昇
- 2020年1月、志摩市沿岸で藻場（サガラメ・カジメの海中林）の消失を確認
- 衛星画像による解析の結果、志摩市の藻場は2017年から2021年の間で**72%減少**
- 藻場減少に伴い、アワビ類・イセエビ等の磯根資源も減少



2017年及び2021年の志摩市における藻場分布



志摩市沿岸の藻場 (2020年1月撮影)
茎だけになったサガラメ・カジメ

藻場減少の原因究明

- ネットの有無によりサガラメの残存を比較する保護試験を実施 (2022.10月~2023.9月)
 - ネットで囲うとサガラメは夏の高水温期を越えて残存し、ネットが無いと試験期間を通じてブダイやアイゴ等の植食性魚類にサガラメが食害され消失
- ※本来、植食性魚類の摂餌は、低水温期には不活発になるが、黒潮大蛇行以降、冬季の水温が顕著に上昇し、植食性魚類による**食害の周年発生に繋がっている**

➡ **植食性魚類 (ブダイ、アイゴ等) による食害**が藻場減少の一因



ネットの有無によるサガラメの保護試験 (左：開始時、中：ブダイによる食害、右：時間経過後)



三重県水産研究所 沿岸資源増殖研究課

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒517-0404 志摩市浜島町浜島3564-3

TEL (0599)53-0130

FAX(0599)53-2225